The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	TA (Teaching Assistant) の声　サイバーメディアフォーラム no.16　情報教育システム
Author(s)	
Citation	サイバーメディア・フォーラム. 2015, 16, p. 33-33
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/70392
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

TA(Teaching Assistant)の声

情報活用基礎を担当して

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

森多　花梨
（基礎工学研究科　システム創成専攻）

私は 2015 年度前期、基礎工学部の情報活用基礎の TA を担当しました。講義は、Word や Excel などの基本的なソフトの使い方から、グラフの作成やマクロの演習、PowerPoint を用いたプレゼンテーションの練習といった内容を中心としたものでした。

この科目では、普段から PC に触れる機会が多い学生とそうでない学生で習熟度の差が大きく、授業の中での課題の進度もかなり個人差がありました。単なるソフトの使い方だけでなく、PC の扱いに慣れた学生も興味深く取り組むことのできる、受講生全員が講義から新たに得るものがある内容が望ましいと感じました。取り組む様子を見ていても、教えられた通りの手順にならって手本と同じ物を作成するような課題よりも、個人である程度自由なものを作成する課題を与えられたときの方が学生の意欲が見られました。

私自身も TA として授業に関わることで、学生が自ら問題解決できるようになるためのサポートの難しさを知ったと共に、わかりやすい説明や指導方法を考える経験ができました。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

金森 俊雄
（基礎工学研究科　システム創成専攻）

私は 2015 年度の前期に、外国語学部と医学部保健学科の情報活用基礎の TA を担当しました。授業ではホームページ作成や MS-Office の基本的な使い方、基本的な情報リテラシーといった情報知識を広く学ぶ内容を主に取り扱いました。

どの学部においても、講義内容に対する学生の習熟レベルが異なるため、各々の学生の習熟度に合わせたサポートを行うように努めました。教える側として大変有意義な時間を過ごせたと思います。

この講義で学んだことは少なからず今後の勉学や仕事で必要になると思うので、学生には積極的に講義内容を思い出し、それを活かしてもらいたいと思います。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊